

共働き世帯の約半数は「家計が苦しい」と感じている

仕事と私生活の満足度は男性では年収900万円台、女性では年収400万円台が最も高い
～年収が高いほど、仕事と私生活の満足度が上がるわけではない～

「【共働き世帯の正社員に聞いた】仕事・私生活の意識調査 2024年(2023年実績)」を発表

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、20～59歳の正社員を対象に実施した「【共働き世帯の正社員に聞いた】仕事・私生活の意識調査 2024年(2023年実績)」の結果を発表しました。

TOPICS

- ◆ 共働き世帯の46.1%は家計が苦しいと感じている。家計が苦しい人の平均世帯年収は711.9万円、苦しくない世帯の平均は878.2万円で、166.3万円の差【図1、2、3】
- ◆ 共働き世帯において私生活と仕事の両方の満足度が最も高い男性の個人年収は「900万円台」、女性では「400万円台」だった【図4】
- ◆ 共働き女性の管理職割合は6.8%。男性で40.6%、女性で19.8%が「今後出世したい」と回答【図5、6、7】
- ◆ 「家庭のために仕事を休んだり遅刻や早退をしている」割合は、未就学児のいる女性が最多で60.7%【図8】

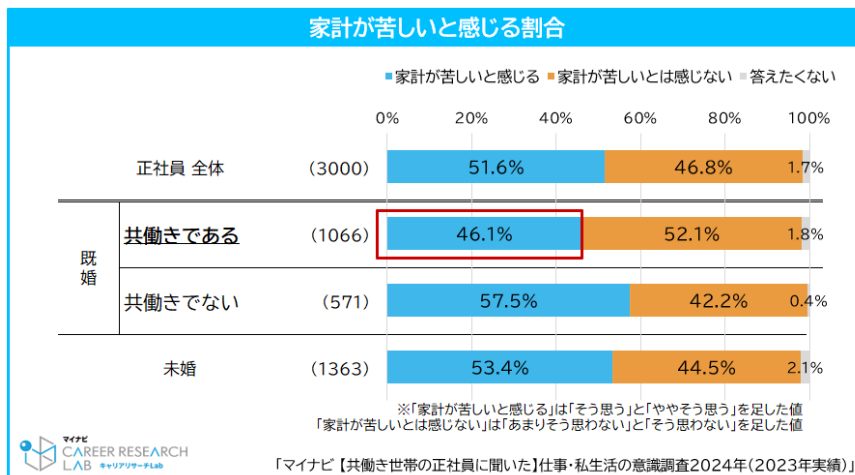
【調査概要】

共働き正社員の46.1%が家計が苦しいと感じている。家計が苦しい人の平均世帯年収は711.9万円、苦しくない世帯の平均は878.2万円で、166.3万円の差

20～50代の正社員男女の51.6%が「家計が苦しい」と回答した。働き方別で比較すると、「家計が苦しい」と回答した割合は、「共働きでない」人で57.5%、「共働きである」人では46.1%となった。また、共働きで、「家計が苦しい」と回答した人の平均個人年収は501.8万円、「苦しくない」と回答した人の平均個人年収は582.2万円で、80.4万円の差があった。

世帯年収については、家計が苦しい人は平均711.9万円、家計が苦しくない人の平均は878.2万円で、166.3万円の差があった。家計が苦しい人の理想の世帯年収は平均1034.4万円だった。【図1、2、3】

【図1】



【図 2】

個人平均年収							
	共働き正社員	家計が苦しいと感じる共働き正社員 (491)		家計が苦しいとは感じない共働き正社員 (555)			
	全体 (1,066)	正社員男性 (323)	正社員女性 (169)	正社員男性 (347)	正社員女性 (208)		
個人年収	544.3万円	501.8万円	574.2万円	345.8万円	582.2万円	660.4万円	439.7万円
理想の個人年収	748.2万円	726.4万円	851.0万円	478.7万円	767.4万円	883.8万円	560.7万円

※平均値

家計が苦しい人と苦しくない人の個人年収の差: 80.4万円

「マイナビ【共働き世帯の正社員に聞いた】仕事・私生活の意識調査2024年(2023年実績)」

【図 3】

世帯平均年収							
	共働き正社員	家計が苦しいと感じる共働き正社員 (491)		家計が苦しいとは感じない共働き正社員 (555)			
	全体 (1,066)	正社員男性 (323)	正社員女性 (169)	正社員男性 (347)	正社員女性 (208)		
世帯年収	802.4万円	711.9万円	729.7万円	673.2万円	878.2万円	890.2万円	856.3万円
理想の世帯年収	1100.8万円	1034.4万円	1086.0万円	928.5万円	1150.7万円	1180.3万円	1097.8万円

※平均値

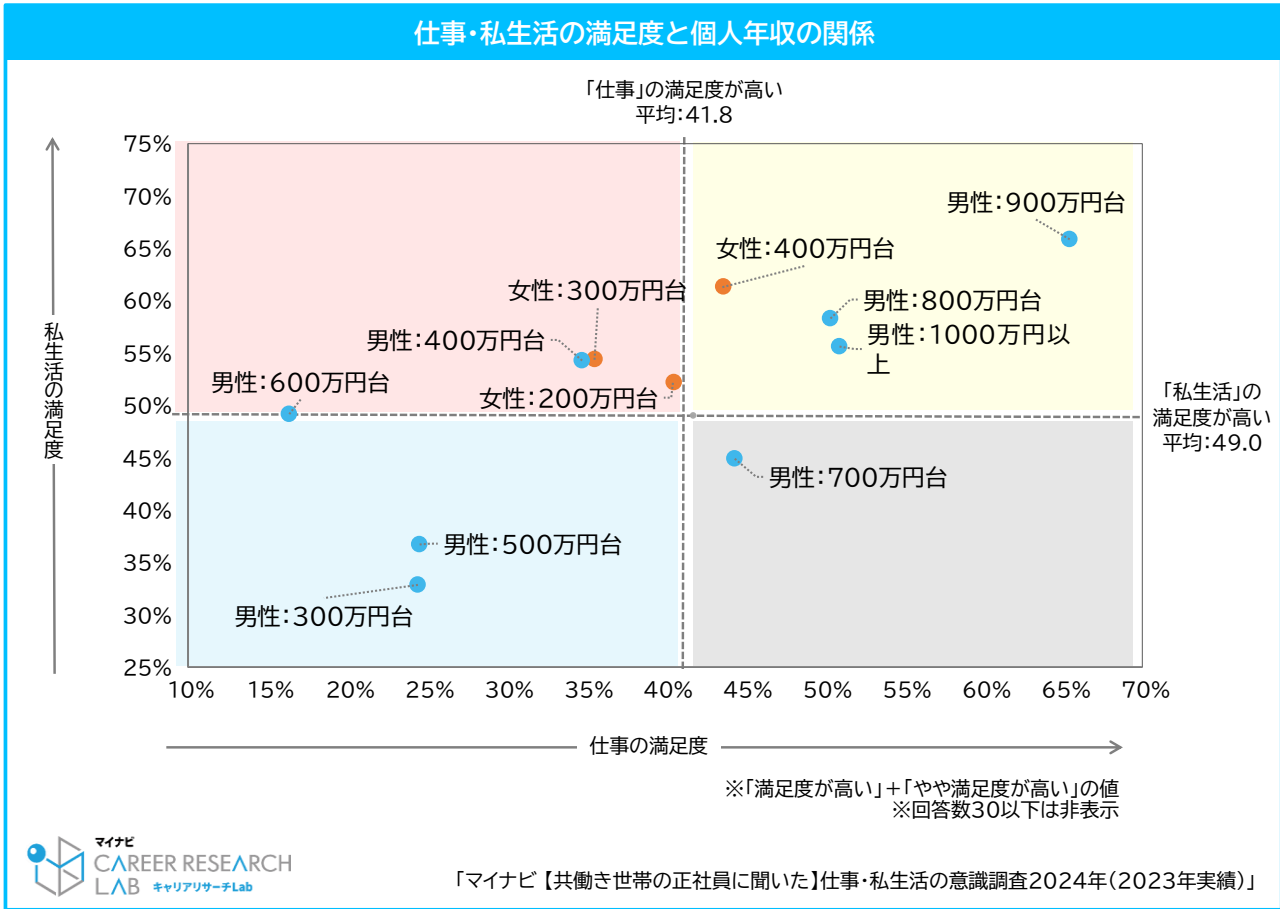
家計が苦しい人と苦しくない人の世帯年収の差: 166.3万円

「マイナビ【共働き世帯の正社員に聞いた】仕事・私生活の意識調査2024年(2023年実績)」

共働き世帯において私生活と仕事の両方の満足度が最も高い男性の個人年収は「900万円台」、女性では「400万円台」だった

年収と私生活および仕事の満足度の相関を見ると、男性は「900万円台」、女性は「400万円台」の年収を得ている人の満足度が最も高くなった。また、男性「400万円台」と女性「300万円台」では、私生活の満足度が男性「1000万円以上」と近くなった。私生活と仕事の満足度と個人年収の関係を調べると、年収が高ければ高いほど私生活と仕事の満足度が高まるわけではないことが分かった。ある程度まで年収が高まったあとは、キャリアの納得感や自己効力感など、ほかの要素が影響すると予想される。【図 4】

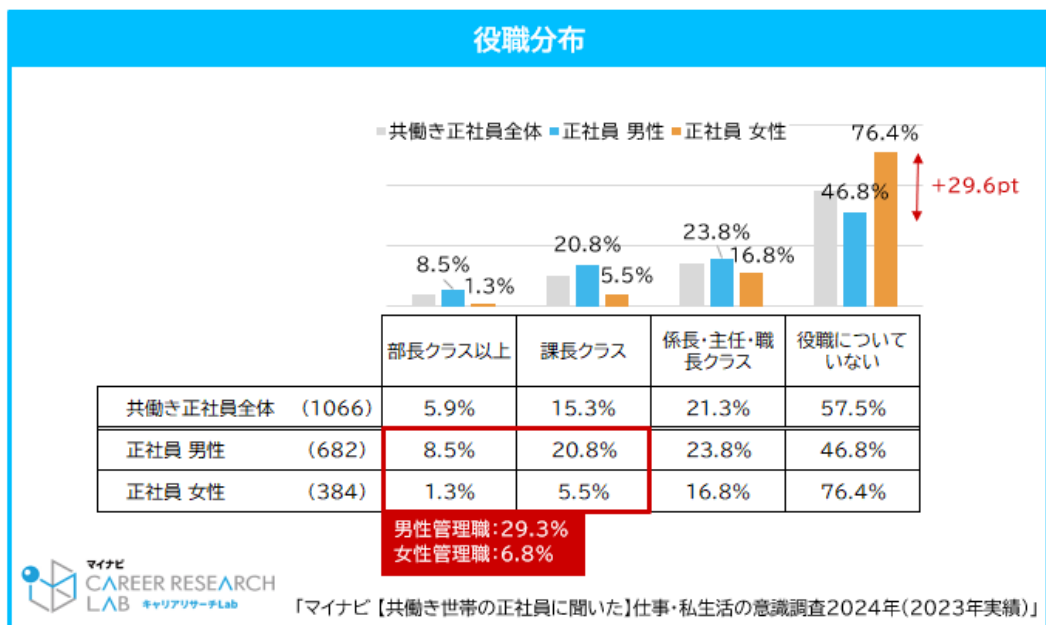
【図4】



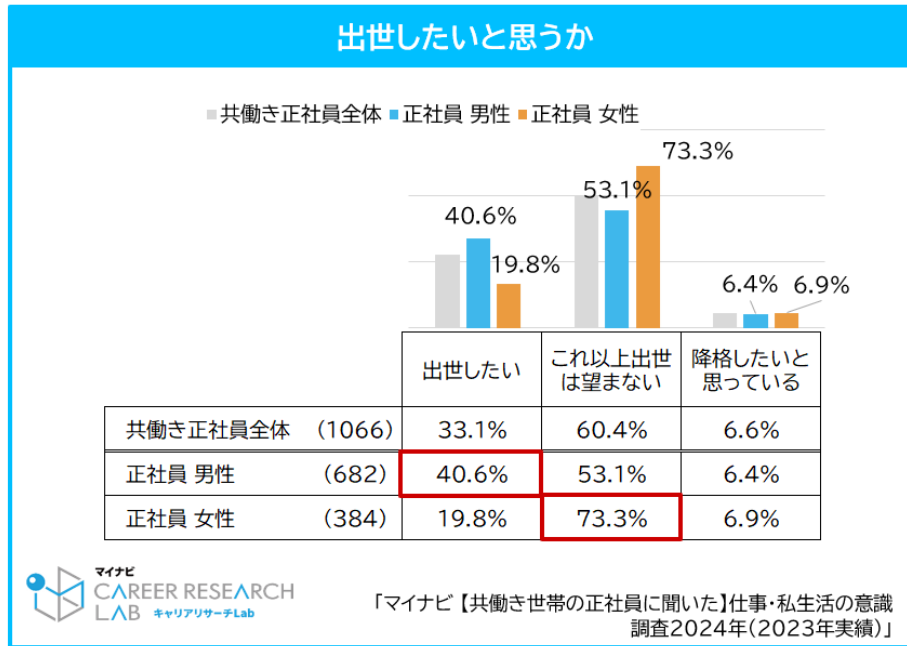
共働き女性の管理職割合は 6.8%。
男性で 40.6%、女性で 19.8%が「今後出世したい」と回答

共働きの正社員に対し、管理職の割合を聞くと男性は 29.3%、女性は 6.8%となり、男女で大きな差がみられた。出世意欲については、「出世したい」と回答したのは男性が 40.6%、女性が 19.8%となった。「これ以上出世は望まない」と回答した割合は、男性では 53.1%、女性は 73.3%。理由を自由回答で聞いたところ「業務量に対して賃金が見合っていない」という意見が目立った。【図 5、6、7】

【図 5】



【図 6】



【図 7】

出世したい・したくない理由

出世したい理由

- 収入を増やしたいし、責任ある仕事もしたいが、部長となると責任が重くなるイメージがあるから。
【20代男性・役職なし・課長職までの出世を希望】
- 今の会社で女性が上げられる上限だと思う。
【20代女性・役職なし・係長クラスまでの出世を希望】
- 上司の様子を見ていて、課長職は残業が多く大変そうなので、最低限その一つ下の役職までを考えたい。
【30代女性・役職なし・係長クラスまでの出世を希望】
- 給与のアップと業務としてより高度なことを行いたい。
【40代男性・課長クラス・部長以上の出世を希望】

出世したくない・降格したい理由

- 仕事が増えるだけで給料は対して増えないだろうから。
【20代女性・役職なし・これ以上出世は望まない】
- 出世するよりワークライフバランスを考えたいから。現在の会社では子供がいる女性社員が出世できている例がないためイメージが湧かない。
【20代女性・役職なし・これ以上出世は望まない】
- やることと給料が伴わないから。
【30代男性・係長クラス・降格を希望】
- 現段階では自分にそんな力量はないと感じているから。
【30代女性・役職なし・これ以上出世は望まない】

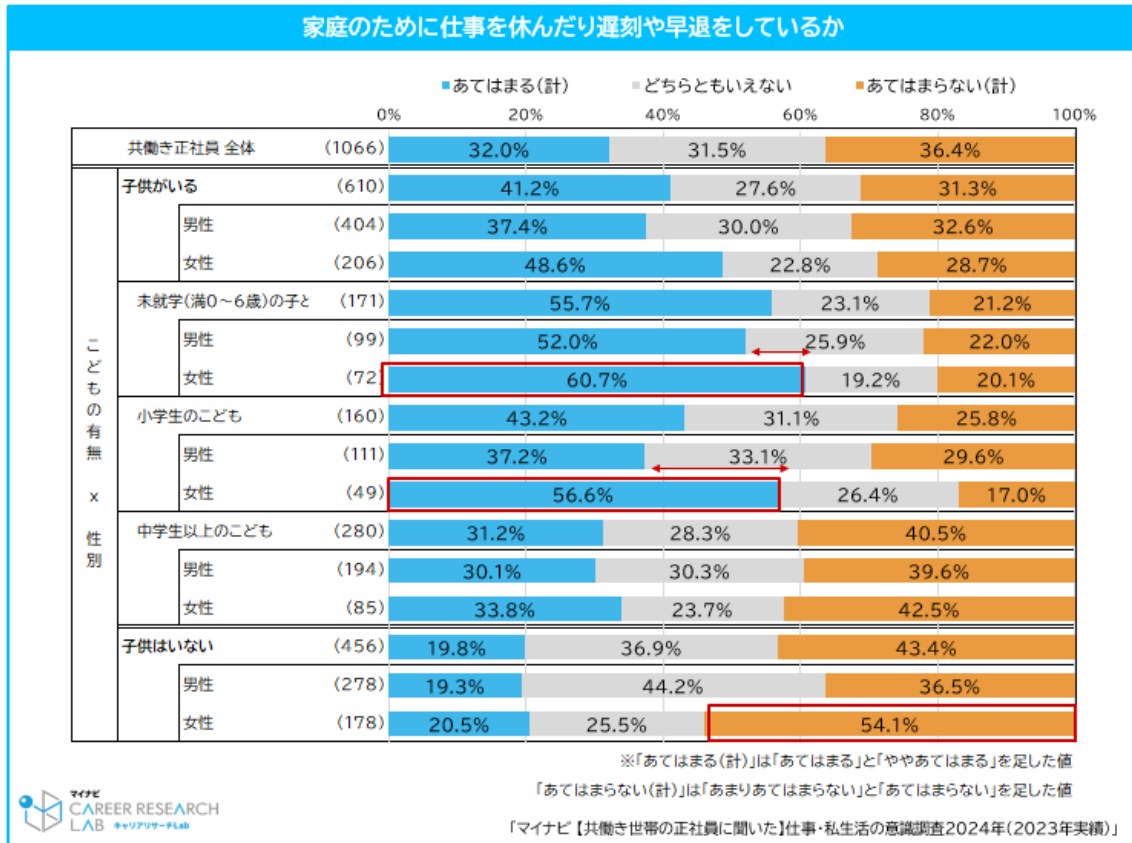
「家庭のために仕事を休んだり遅刻や早退をしているか」を性別・子どもの有無別でみると、
「あてはまる」がもっとも多かったのは、未就学児がいる女性で 60.7%

「家庭のために仕事を休んだり遅刻や早退をしているか」を性別・子どもの有無別でみると、未就学児がいる女性が 60.7%で最多で、男性は 52.0%で半数を超えた。いっぽう、小学生の子どもがいる場合では女性が 56.6%、男性が 37.2%と、男女で大きく差が開いた。未就学児の時点では、男性育休などの制度活用が進んでいる*影響もあると考えられ、男女差は大幅ではない。しかし子どもが小学生になると、子の看護休暇の取得時期から外れるなど制度面の影響が生じ、差が広がっていると考えられる。【図 8】

※企業による多様な働き方実現に関するレポート 2023 年版

https://career-research.mynavi.jp/research/20231012_60032/

【図8】



【調査担当者コメント】

今回の調査では「家計が苦しい」と感じている共働き正社員は約半数いるという結果になりました。実質賃金の連続マイナスが続くなか、賃上げの重要性が感じられます。

私生活と仕事の満足度と個人年収の関係を調べると、年収が高ければ高いほど満足度が高まるわけではありませんでした。ある程度まで年収が高まったあとは、キャリアの納得感や自己効力感など他の要素の影響が強まるのが予想されます。今後も調査を続け、私生活も仕事も双方充実したキャリアを築けるような支援について考えていきます。

マイナビキャリアリサーチラボ 研究員 朝比奈 あかり

【調査概要】【共働き世帯の正社員に聞いた】仕事・私生活の意識調査 2024年(2023年実績)

○調査期間／2023年11月17日(金)～11月20日(月)

○調査方法／インターネット調査

○調査対象／20～59歳の正社員の男女

○有効回答数／3,000件

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細はこちら

(https://career-research.mynavi.jp/?post_type=research&p=71339)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。

蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 鈴木 Email:koho@mynavi.jp